



教育センター所報

GALILEI



イルミネーション

新しい教育 柏崎からの発信

インターネット版(カラー)は「柏崎市教育情報支援システム」を検索し、トップ画面右上の「GALILEI」をクリックすると閲覧できます。

平成 22 年 12 月号

柏崎市立教育センター

今月の巻頭言

「考える」を考察する



教育センター運営委員

柏崎市立第二中学校長

近藤 道範

新学習指導要領では、確かな学力を育成するために、基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等をはぐくむことのバランスを重視することが求められています。少し乱暴な言い方をさせていただくと、「教師が教えるべきことをしっかりと教え、児童生徒が自らの生活経験や既習内容を基にじっくりと考え、自ら判断し、表現する授業」への転換が必要とされています。しかし、授業改善の方向性は分かっても、なかなか新学習指導要領の趣旨通りにいかないのが実際の授業です。その原因はなんなのかと思いを巡らした時に、「考えさせることの難しさ」にあるのではないかと思うのです。

私たち教員は、「考えさせる授業」とか「考える時間を保証する」という言葉を割と安易に使いがちですが、子どもが脳をフル回転させて考える時間が、一時間の授業の中に果たしてどれだけあるのか疑問が残ります。私自身は、中学校社会科を30年近く担当してきたのですが、例えば「2年生の歴史の授業で、生徒が15分間、真剣に考え続けている学習活動の例を3つばかり挙げなさい。」と自問した時に、正直なところ戸惑いがあります。

「複数の社会事象を関連付け、因果関係を説明する活動」とか「史料から原因や結果を予測する活動」「歴史的事象の価値判断を巡り討論し合う活動」などともっともらしいことを答えることは簡単ですが、その活動が本当に「考える活動」なのか、「判断する活動」や「表現する活動」とどのように異なるのか、自信をもって説明することはできません。「考える」という活動を的確に説明することは意外と難しいことなのではないでしょうか。

「考える」ことを仕事とするプロ棋士 羽生善治名人が、脳科学者茂木健一郎さんとの対談の中で、「思考のトップスピードに入っている時は、あまりたくさんの手を読んでいないんです。なんとなくこれが正しいんじゃないかという感覚がすごく研ぎ澄まされて、これは行けるとかこれはだめという判断が素早く下せる状態だと思います。」と興味深いことを述べています。

羽生名人の言葉からすると思考と判断は表裏一体の関係にあるようにも思えます。「考える」とは、既習の知識や経験を想起し、取捨選択し、組み合わせ、関係付けながら課題に最適な解を判断し、表現する総合的な活動といえるのかも知れません。しかしそう考えると、思考力と判断力と表現力を明確に区別することが難しくなってきます。

どうやら新学習指導要領が全面実施される前に、各教科の授業において子どもが全力で「考える」学習活動とはどのようなものであるか、具体的な単元の中で「考える」活動を組み入れるにはどのような学習課題や発問が有効なのか、私たち教員自身がじっくりと考える必要があるように思います。

教職員専門研修講座の様子



11月中下旬に実施した講座の様子について紹介します。講師先生をはじめ、受講された皆さんのおかげで充実した研修を行うことができましたこと感謝申し上げます。

11月16日(火) 国語教科指導法2

学校教育課指導主事 関原るみ子

学校教育課から関原るみ子指導主事を講師に迎え、言語活動の充実をキーワードに研修を進めた。新学習指導要領の趣旨を踏まえた国語科の授業の方向性について、新旧の教科書の比較を通しながら理解を深めることができた。受講者にとって実りある研修になったと考える。

前段の講座では、新旧同じ教材であっても、ねらいに違いがある。ややもすると同じ教材であると今まで通り授業をしてしまいがちであるが、しっかりとねらいを把握し、単元構成を考えていく必要があると思った。後半、グループワークを通して、他者の考えを聴くことは、考えを広げ深めることを、改めて自身が実感できた。良い研修会に参加でき感謝しています。ありがとうございました。

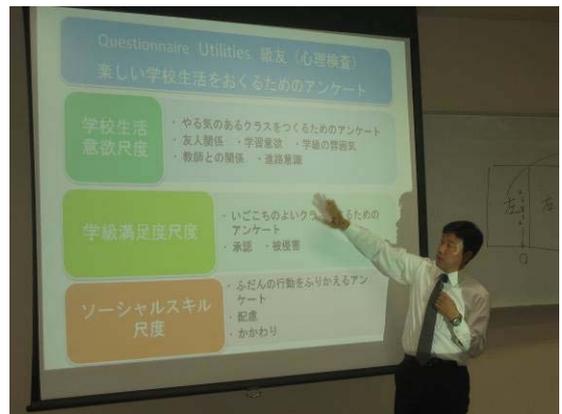


11月19日(金) 学級集団づくり

上越教育大学特任准教授 伊佐 貢一様

互いの信頼関係や人間関係をはぐくみ、学級を機能させ集団と個を成長させていくには、どのようなことが必要なのか。今回の講座では、講師に上越教育大学准教授の伊佐貢一先生を迎え、Q-Uを活用した学級集団づくりについて研修をした。学級集団の実態を把握し分析することの大切さ、分析に基づいた目標設定の大切さ、ルールづくりとリレーションづくり両方のバランスを保ちながら柔軟な姿勢ではぐくんでいくことの大切さ、小学1年から中学3年までの9年間を見通した中で段階を踏まえた学級づくりの重要性等について、理解を深めることができた。

学級集団理解シートと学校生活意欲プロフィールの見方がストンと落ちました。Q-Uを当校でも行っていますが、集団シートの分析は個人に目が向き、生活意欲はあまり目を向けていなかったということが良く分かりました。学級集団を可視化すること、そしてチームで学級づくりをすること、そして支えているのは学校、地域の文化であることを教えていただき、目からうろこでした。ありがとうございました。



11月24日(水) 算数示範授業

筑波大学附属小学校 山本 良和 様

授業を見て、思考力・表現力を育成させるための「こだわり」(強い思い)を大変強く感じました。課題に対し全員の子どもの意識を集中させるこだわり、式の意味を共有することへのこだわり、全員が納得して理解していくことへのこだわり、友だちの考えや自分の考えを表現することへのこだわり、出来る出来ない、出来た出来なかったではなく、子どもの発見、「気づき」をもとに学習を生みあげていくことへのこだわり、等々。1時間の授業の中で、とことん考え、何度もペアで全体で表現していく子どもの姿と、それを引き出し支える山本先生の姿から、大変多くを学ばせていただきました。同じ4年生を担当していますが、ぜひ明日の授業から生かしていきたいと思いました。



11月30日(火) ニュースポーツ

柏崎市教委スポーツ振興課 原 剛 様

大縄飛び、ラケットテニスといった2つのスポーツを紹介していただき、実技を通して研修を深めることができた。協力し合い、作戦をたてながら楽しく進めることができるといったスポーツであり、その理論や作戦の立て方など研修を深めることができた。

大縄では跳ぶ人の立ち位置について「確かに」と思いました。本校では、2月に大縄大会があるので、それに向け、今回のことを活用していきたいと思いました。ラケットテニスは、サービスの交代等さえ覚えれば、本当に誰もが楽しめるスポーツだと思いました。テニスより楽に返球でき、バドミントンのようなスピードもないので、これから機会を作ってやりたいと思います。良い汗をかかせていただきました。ありがとうございます。



11月30日(火) 同和教育現地研修

部落解放同盟新潟県連合会上越支部長 渡邊 秀明 様

専門研修講座として4年連続で実施している現地研修会である。昨年度に続き、部落解放同盟新潟県連合会上越支部長の渡邊秀明様から直接お話を聞くことができた。県を中心となって、これまで活動をされてきた渡邊様の講話は、実体験を踏まえたたいへん貴重なお話であり、受講者は皆真剣に聞き入り、充実した研修となった。

今回の現地研修で、地区の現状や今も残る差別の跡を知ることができました。渡辺支部長さんのお話のように、同和教育、同和授業を進んで行いながら改善を図っていくことが大事であると思いました。今回の研修を今後に生かすよう努めていきたいと思います。

自分の中・高時代を思い返しても部落差別等の同和教育を正しくしっかり受けた記憶がありません。教員になり、このような研修会で勉強させていただき、大変ありがたく感じます。子どもの前に立ち、導いていく人間として、自分の心を整理し、差別は許さないことを肝に銘じていきたいと痛感しました。

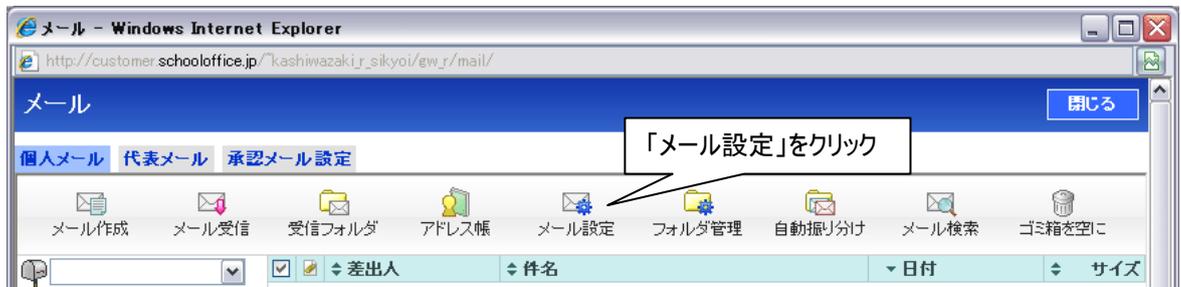


■ ■ ■ スクールオフィス情報 ■ ■ ■

■ メール設定の再確認を！

メールの送受信に関するトラブルの相談が増えています。多くの場合、メールの設定に問題があることがトラブルの原因となっていますので、各自のメールの設定を再度確認して下さい。

①メールの画面を開き「メール設定」アイコンをクリックします。



②自分のメールアドレスのタブ(まだ設定されていない場合、ここは「アカウント1」のように表示されています)を選択して、以下のポイントを確認します。

自分の名前

自分のメールアドレス

自分のメールアドレス(メールアドレスの@の前の部分)

自分のメールパスワード

この2つの欄は、いずれも「mail.kenet.ed.jp」を入力
また、右にあるポート欄は上が「110」、下が「25」

通常空欄にしておきます(空欄にしておけば、相手が返信しようとする時、送信したアドレスが宛先にセットされます)。メールは A のアドレスで送るけど、返信は B のアドレスに送ってもらいたいという場合に B のアドレスを入力する欄です。

スクールオフィス以外の環境から同じメールアドレスを使用することがなければ、必ずチェックを OFF にして下さい。複数の環境で同じメールアドレスを使用する設定を熟知していない場合は ON にしないで下さい(不要なデータがメールサーバにどんどん蓄積されていくことになります)。

他のユーザーからアドレスが参照できるようにするには、スクールオフィスの教職員名簿で、「メールアドレス」欄を入力し、さらに「学校基本情報の報告」が必要です。この処理が行えるのは、各校の管理権限者(校長、教頭、事務主幹)です。

■ ■ ■ 教育情報支援システム情報 ■ ■ ■

📖 講習会のテキスト・資料を登録しました

実施日	講座名／資料名
12/9	098_記録型 CD・DVD の活用 記録型 CD・DVD の活用.pdf (テキスト第 7 版)
12/14	102_スクールオフィス年度更新講習 NO11_年度更新講習.pdf (テキスト第 1 版) 年度更新チェックリスト.pdf (仮年度更新と次年度の準備、年度末の作業、年度更新、年度始めの作業、それぞれの時期に行うべき処理のチェックリストです)

■ ■ ■ 情報関連研修講座情報 ■ ■ ■

📖 1 月に実施される情報関連講座のご案内

◆H23.1.20(木) デジタルアルバム作成入門

デジタルカメラで撮影した画像を使って、CD や DVD にデジタルアルバムとしてまとめる手順について学習します。この講座では、以下の2つの手順を学習します。

①Windows XP 以降の環境において無償で利用できる「フォトストーリー3」を使って、写真に動きや切り替え効果を与え、BGM などを付加してムービーとして仕上げ、それを CD や DVD に書き込むところまで。

②ホームページビルダーを使って、写真をホームページ形式にまとめ、それを CD や DVD に書き込むところまで。



◆H23.1.26(水) 疑問やトラブルに答える フリーQ&A その8

ICT 活用に関すること、パソコンのトラブルや疑問など、自由に相談できる機会を設けました。他の講座のような事前申し込みは不要ですが、前日までにメールや電話で相談内容をご連絡頂ければ、内容に応じた準備をさせていただきます。

■ ■ ■ セキュリティ情報 ■ ■ ■

📖 通知領域のメッセージに注意して下さい！

・Adobe Reader、Flash Player、Java などの更新プログラムが頻繁に提供されています。これらのアップデートを促す表示を無視せず、速やかに適用して下さい。これらのプログラムは利用者も多く、脆弱性を放置したままインターネットにアクセスすると、高い確率で悪意のあるプログラムの侵入を許すことになります。



セキュリティホール情報

マイクロソフトより、12月15日付で12月の定期更新として、Windowsなどの重要な更新が下記のように公開されました。まだUpdateが済んでいないようでしたら、至急Windows Updateなどを実施していただくをお願いします。

No.	更新の名称	脆弱性等の情報	対象	深刻度
1	MS10-090 IEの重要な更新	Internet Explorer 用の累積的なセキュリティ更新プログラム (2416400)	IE6,7,8	緊急
2	MS10-091 Windowsの重要な更新	OpenType フォント (OTF) ドライバーの脆弱性により、リモートでコードが実行される (2296199)	Windows XP,Vista,7,2003Server,2008Server	緊急
3	MS10-092 Windowsの重要な更新	タスク スケジューラの脆弱性により、特権が昇格される (2305420)	Windows Vista,7,2008Server	重要
4	MS10-093 Windowsの重要な更新	Windows ムービー メーカーの脆弱性により、リモートでコードが実行される (2424434)	Windows Vista,ムービーメーカー2.6	重要
5	MS10-094 Windows Media エンコーダーの重要な更新	Windows Media エンコーダーの脆弱性により、リモートでコードが実行される (2447961)	Windows Media エンコーダー9	重要
6	MS10-095 Windowsの重要な更新	Microsoft Windows の脆弱性により、リモートでコードが実行される (2385678)	Windows 7,2008Server	重要
7	MS10-096 Windowsの重要な更新	Windows アドレス帳の脆弱性により、リモートでコードが実行される (2423089)	Windows XP,Vista,2003Server,2008Server, Server 7	重要
8	MS10-097 Windowsの重要な更新	インターネット接続のサインアップウィザードの安全でないライブラリのロードにより、リモートでコードが実行される (2443105)	Windows XP,2003Server	重要
9	MS10-098 Windowsの重要な更新	Windows カーネルモード ドライバーの脆弱性により、特権が昇格される (2436673)	Windows XP,Vista,7,2003Server,2008Server	重要
10	MS10-099 Windowsの重要な更新	ルーティングとリモート アクセスの脆弱性により、特権が昇格される (2440591)	Windows XP,2003Server	重要
11	MS10-100 Windowsの重要な更新	承認 ユーザー インターフェイスの脆弱性により、特権が昇格される (2442962)	Windows Vista,7,2008Server	重要
12	MS10-102 Windowsの重要な更新	Hyper-V の脆弱性により、サービス拒否が起こる (2345316)	2008Server	重要
13	MS10-103 Publisher の重要な更新	Microsoft Publisher の脆弱性により、リモートでコードが実行される (2292970)	Microsoft Publisher 2002,2003,2007,2010	重要
14	MS10-105 Officeの重要な更新	Microsoft Office グラフィック フィルターの脆弱性により、リモートでコードが実行される (968095)	Office XP,2003,2007,2010 など	重要
15	MS10-101 Windowsの重要な更新	Windows Netlogon サービスの脆弱性により、サービス拒否が起こる (2207559)	2003Server,2008Server	重要
16	MS10-104 Share Point の重要な更新	Microsoft SharePoint の脆弱性により、リモートでコードが実行される (2455005)	SharePointServer2007	重要
17	MS10-106 Exchange の重要な更新	Microsoft Exchange Server の脆弱性により、サービス拒否が起こる (2407132)	ExchangeServer2007	重要

注意 警告 重要 緊急 は右側ほど深刻度が高く、緊急の対応を要します。グレーの項目は企業向け。

プロジェクト K

(科学技術教育センターだより)

研修会・事業の一コマ

・・・ 研修会の様子 & 参加者の声など ・・・

小学校 4 学年「人の体のつくりと運動」(11月25日実施)

内 容 新学習指導要領への移行により、昨年度から実施されている「人の体のつくりと運動」についての研修会を行いました。「私のレントゲン写真」ではレントゲン写真と自分の手を比較しながら、手のレントゲン写真(予想図)を作成しました。実際に触りながらスケッチをすることで、関節の存在や手の付け根の部分の細かい骨の集まりに気づくことができます。



中学校 1 分野「身のまわりの物質」(12月2日実施)

内 容 新学習指導要領では新たにプラスチックが加わっています。身のまわりにプラスチック素材があふれかえっているにもかかわらず、意外にその性質については知らないことが多いです。それぞれのプラスチックの特徴とその用途について合わせて考えてみると、プラスチックと日常生活とのかかわりが見えて面白いかもしれません。今回の研修会では、プラスチックの性質調べを中心に行いました。



紹介します！おススメ教材！

道具の貸し出しやデータの提供を希望される方は、科学技術教育センター(電話 20 - 0212)にご連絡ください。

センターの教材については、貸し出し期間は原則1週間です。ほかに予約が入っていないければ延長することも可能です(要電話連絡)。



シュリーレン観察板

食塩などが水に溶け出すときに観察できるシュリーレン現象を、はっきりと観察するためのものです。容器の後ろに縦じま模様のを置くだけで、もやもやが鮮明に観察できます。真っ白でも真っ黒でもダメ、横じま模様でもダメ。縦じま模様の型紙を半分に切ってラミネートをかけるだけで作ることができます。

縦じま模様の型紙データはセンターにありますので、お気軽にお問い合わせください。



電磁石

乾電池1個で、65kg くらいの物体をぶらさげることができる強力な電磁石です。小学校5年生の「電流のはたらき」の単元で使ってみませんか。

心の窓 No.136

平成 22 年 12 月 21 日 (火)
〒945 - 0833 柏崎市若葉町 2 - 31
TEL 0257(23)4591 (代表)
FAX 0257(23)4610

ふれあいルームから

集団活動から育まれるもの

ふれあいルームの通級生は、“マイプランタイム”と“ふれあいタイム”の2つの時間を過ごしています。“マイプランタイム”は、自分に合った学習に取り組む時間として設定しています。そして、“ふれあいタイム”では通級生同士の交流活動を中心とした時間があります。

最近では、“ふれあいタイム”の過ごし方が少しずつ変わってきました。これまでは、個々人や数人での活動が主だったのですが、通級生全員が集まって遊ぶ姿が見られるようになってきています。鬼ごっこやだるまさんがころんだ、トランプ、ジグソーパズル、など・・・。“みんなで活動しよう”という気持ちが生じてきたことに加えて、“まず、やってみる”ことの大切さに気づき始めています。中には、集団活動が苦手と感じたり、初めてすることに抵抗を感じたりする通級生もいます。それでも、少しずつではありますが様々な集団活動にチャレンジするようになっていきます。



ある日、通級生みんなで缶けりをする事になりました。最初は、通級生の中には「やらない」と言った子もいましたが、“やってみて感じること”や“誘われたことを受け入れる大切さ”を伝えると、勇気を出してみんなと一緒に参加する姿がみられました。ふれあいタイムが終わると、通級生の誰もが笑っています。そして、「今日は、楽しかった。初めてやることもいいな。」「また、みんなでやりましょう!」との声が自然と出てきました。その日から、みんなで遊ぶことを誘ったり、みんなでできる遊びを話し合ったりしています。そのためか、集団活動の時間や活動のバリエーションが増えてきました。

通級生にとって、新しいことにチャレンジすること、集団活動の楽しさや喜びに気づくこと、その1つ1つが心の成長に繋がっています。また、ほんの小さな一歩かもしれませんが、再登校に繋がっていく大切な体験なのだと思います。

(文責 ふれあいルーム指導員 松井 理納)

カウンセリングルームから

問題を理解するために～人と環境の相互作用

人は必ず何らかの環境に取り囲まれており、その環境と相互作用しながら生活しています。

環境とは、家族や学校(勉強、部活、友人、進路など)、地域社会、または制度や住環境などさまざま

まな要素を含みます。人と環境の関係は互いに影響し合うものであり、両者が上手く折り合っていない場合は、「問題」を呈しやすい状態にあるといわれています。

カウンセリングルームでは、子どもの問題を、この人と環境の交互作用に着目しながら幅広い視点で取り組むことを心がけています。子ども自身の努力や改善のみではなく、周りの環境とどのような関係にあるのかを認識し、負の関係の状況改善は重要な支援となります。特に保護者の変化は子どもに対し影響を与えることとなり、問題状況改善のカギとなります。

相談に来られる保護者の中には、自責や悲しみや怒りや無力感など計り知れない苦悩を抱えている方がいらっしやいます。困難に直面したとき、人は誰もが、なかなか解決行動に移せるものではありません。如何にその苦悩を受けとめ、可能性を引き出すか、保護者自身の回復が相談援助の重要な役割の一つと考えています。

解決は相談者自身によって構築されるものであり、支援とは誰もが持つ本来の力を発揮できるように支えることと考えます。問題を抱える子どもや保護者にとって、安心や喜びなどの良い影響、効果的な影響を提供できる環境の一つでありたいと思います。

(参考：山下英三郎「相談援助」学苑社)

(文責 カウンセリングルーム相談員 本間 良子)

＜保護者の気持ち～家庭や地域でのストレス＞

母親が主に子どもの養育に携わっているが、子育てに悩んでいたりと、障害の疑いをもっていたりしても、家族の協力や理解が得られない、といった場合が多く見られます。当市の就学相談においても、そのようなケースを耳にすることがあります。「小さい頃は自分もそうだった。」「大きくなれば変わる。」「しつげが悪い。」等と父親や祖父母等から言われることがあるとのこと。また、地域での理解がなされずに孤立してしまう場合や、他の兄弟姉妹への影響を心配して、特別支援学級在籍や個別指導を受け入れられない場合等も見受けられます。支援者側から見れば、特別な教育的支援の必要性を認めない保護者、発達障害の診断を受けていても「治る」という意識でいる保護者、保育園・幼稚園や学校の指導対応の不十分さばかりを訴える保護者、と映ることもあるでしょう。子どもの状態像の捉えに温度差を感じ、じれったさを感じることもあるでしょう。

しかし、家庭や地域でのストレスは想像以上に大きいもの。実はそれらを表面に出すことができず、相談できる場所や人もなく、母親が一人で苦しんでいる状況があるのかもしれない。支援者側として、少し違った角度から一歩踏み込んで保護者の状況や気持ちを探り、お互いに誤解することなく、よりよい信頼関係や協力体制を構築していきたいですね。

(参考：「特別支援教育時代の保護者サポート」ジアース教育新社)

(文責 長谷川 裕美)



＜ふれあいルーム＞

- 11日(火) 通級開始日
- 21日(金) スケート教室
- 25日(火) ソフィアセンター
- 27日(木) ヨガ体験

＜カウンセリングルーム＞

いろいろ体験グループ SST

- 14日(金) 16:30～17:30 小学生A・Cグループ
- 21日(金) 16:30～17:30 小学生Bグループ
- 28日(金) 18:30～20:00 中学生第1グループ

＜その他の予定＞

- 12日(水) 就学相談(教育センター)



柚子

教育研究班・科学技術教育
嘱託専任所員 阿部 美江

最近我が家は毎日「柚子湯」に入っています。11月の末頃、群馬の実家に帰省した際柚子をたくさんもってきたからです。私は柚子の爽やかな香りが大好きです。柚子の香りを楽しみながらお風呂に入ると、体も心もふうっと力が抜けて疲れがどこかへ飛んでいってしまいます。

昔から、「冬至に柚子湯に入ると一年間風邪をひかない」と言われていますが、入浴後は本当に体がポカポカ温まります。体の血行を促進する「ノルアドレナリン」の濃度がさら湯の4倍もあるそうです。

また、柚子湯はなんと美肌効果も抜群のようです。皮に多く含まれている「リモネン」は、皮膚に膜を作って肌の水分を逃さないようにし、肌をスベスベにしてくれるそうです。乾燥肌・冷え性・肩凝りのひどい私にはありがたい効能ばかりです。

それから、柚子はビタミンCがレモンの3倍、柑橘類の中でもトップだそうです。お風呂ばかりでなくお料理でもたくさん取り入れたいものです。今年は柚子でマーマレードを作ってみました。他のジャムに比べて皮の渋みを取る作業が少し面倒ですがとっても美味しくできました。トーストやプレーンヨーグルトとの相性もピッタリです。

おうちに柚子のある方、ぜひお試しください。

スキーと温泉

教育センター所長 中山 博迪

現職の教員時代に、5年間も“スキーと温泉”に大変縁のある学校に勤務させていただいた。教頭時代の2年間は、借りていた一戸建ての教員住宅のすぐ前に湯量豊富な共同浴場があり、年間1万円で毎日好きな時間に自由に温泉に入ることができた。朝の出勤前に一風呂浴びてという日も結構あった。また冬になるとスキー授業にあけくれた。ワールドカップやオリンピックで活躍したM選手、当時はまだ小学生だったが2年間、体育授業を受け持たせていただいた。スキー技術はすでに私をはるかに超えており、当時から将来の夢は「オリンピックの選手になって表彰台に立つこと」と言っていた。（是非、夢を叶えさせてあげたいものだが・・・。）

新任校長時代の3年間は、すぐ近くに日本三大薬湯のM温泉があり、教員住宅のお風呂は使わず、ほぼ毎晩のように温泉に通っていた。M温泉スキー場も学校から徒歩5分の所にあり、冬になるとスキー三昧の日々が続いた。全校児童数40人足らずの学校であったが、ここでも地域と連携してスキー課外に取り組んだ。おかげで子どもたちは信越学童スキー大会で3年連続優勝という快挙も成し遂げてくれた。

また私が赴任中に冬季国体も開催された。M温泉スキー場がモーグル会場となり上村愛子選手ら日本を代表する選手の競技を目の前で観戦することができた。アルペンスキーで全国大会に出場したことのある亡き母親に、初めて手ほどきを受けて始めたスキー、今はほとんど滑る機会も無くなったが思い出だけは数多く残っている。また5年間、温泉三昧だったせいかわからないが、今でも至って健康でいられるのはありがたい。

H22年度の教育センター参加・利用状況

研修講座・事業名		6月の 利用数	7月の 利用数	8月の 利用数	9月の 利用数	10月の 利用数	11月の 利用数	H22年度 利用合計数	
教育 研究 班	専門研修講座(情報・科学を除く) *	5回 114人	5回 186人	16回 504人	4回 135人	5回 289人	10回 448人	50回 1813人	
	共催研修、研修講座	1回 45人	0回 0人	2回 51人	1回 34人	1回 197人	2回 165人	9回 562人	
	調査研究員会,教科研修員会	3回 3人	3回 3人	1回 1人	3回 3人	7回 7人	4回 4人	22回 35人	
	教育情報化研修講座 *	7回 68人	8回 90人	12回 124人	2回 2人	2回 2人	3回 61人	41回 393人	
	情報教育主事の要請支援等	9回 26人	10回 105人	5回 24人	13回 30人	25回 73人	11回 41人	94回 418人	
	その他の相談・利用・参加数	19回 132人	0回 0人	0回 0人	0回 0人	2回 3人	1回 2人	22回 137人	
	教科書センター利用閲覧数	312人	85人	12人	9人	4人	15人	442人	
教育 研究 班・ 科学 技術 教育	理科研修講座 *	2回 20人	1回 17人	3回 51人	2回 50人	2回 12人	1回 5人	15回 208人	
	学校等の要請研修	2回 166人	2回 144人	1回 4人	3回 66人	1回 10人	2回 38人	12回 448人	
	地域の自然研修・観察会	1回 9人	1回 32人	0回 0人	0回 0人	0回 0人	0回 0人	3回 85人	
	科学教育振興事業(科学の祭典・科学教室等)	4,578人	0人	804人	2,208人	0人	1,300人	8890人	
	理科教育の相談・支援	9件	14件	16件	3件	17件	6件	70件	
	理科教材・物品の貸出	14件	7件	3件	31件	26件	5件	92件	
	(教職員研修の合計)	20人	17人	55人	85人	22人	9人	281人	
教育 相談 班	カウンセリングルーム来室相談	新規相談件数	17件	28件	21件	20件	26件	26件	205件
		のべ相談件数	48件	55件	52件	66件	68件	77件	475件
	学校訪問相談	17回	12回	7回	7回	8回	10回	79回	
	電話相談	2件	0件	3件	3件	2件	1件	18件	
	ソーシャルスキルトレーニング	5回 28人	6回 31人	4回 22人	1回 5人	5回 26人	4回 22人	29回 154人	
		ふれあいルーム在籍人数	小学生 3人	3人	3人	3人	3人	3人	24人
		中学生 8人	8人	8人	9人	9人	9人	64人	
	ふれあいルーム通級日数	22日	15日	3日	20日	16日	20日	131日	
	ふれあいルーム通級のべ人数	小学生 46人	35人	6人	43人	27人	38人	273人	
		中学生 107人	62人	8人	70人	75人	100人	527人	
ふれあいルーム学校復帰人数(部分復帰を含む)	7人	7人	8人	6人	7人	8人	55人		
教育団体, P T A, 市民等の利用	456人	422人	358人	270人	263人	344人	2511人		
教育センター事業の参加・利用総数	6,217	1,328	2,071	3,055	1,135	2,708	17,835		
教育センターにおける教職員研修講座 (* 印の合計)		14回 202人	14回 293人	31回 679人	8回 187人	9回 303人	14回 514人	106回 2,414人	

####

平成22年度 月間予定表

1月

柏崎市立教育センター

日	曜	研修・行事・会議	内部事務▼・出張等	関係事業・施設貸出等
1	土			
2	日			
3	月			
4	火		▼広報2/5号ㄨ切	
5	水		▼所内会議 13:00	
6	木		出・五泉特別支援学校(小林東) 13:30	
7	金			
8	土			
9	日			
10	月	成人の日		
11	火	ふ・通級開始日		小学校校長会(多目)13:30 事務研第3G(ミｰティング)14:00
12	水			就学相談 PM
13	木			
14	金	科・教職員理科研究発表会 13:30 相・いろいろ体験グループ(小A・C) 16:30	出・PTSD対策研修(新潟市:小林東) 14:00	
15	土			
16	日			
17	月			
18	火	保健管理システム講習会(多目)14:00	▼広報2/20号ㄨ切	事務研(多目)14:00
19	水			
20	木	情・デジタルアルバム作成入門 15:00		中越臨床心理士会(小林東) 13:00
21	金	相・いろいろ体験グループ(小B) 16:30 ふ・スケート教室㉒(柏崎アクアパーク)	第3回地区理セン代表者会議(長岡:所長、酒井) 13:30	
22	土			
23	日			
24	月	相・相談班会議		
25	火	ふ・ソフィアセンター	定例教育委員会 13:30	
26	水	情・疑問やトラブルに答えるフリーQ&A㉓ 15:00		
27	木	科・小学校3学年「ものの重さと体積」15:00 ふ・ヨガ体験		柏刈小中教頭会(多目)14:30
28	金	相・いろいろ体験グループ(中㉑) 18:30	▼紙資源物回収 15:00	
29	土			育・青少年健全育成大集会講演会
30	日			
31	月			

研・教育研究班 科・科学技術教育 相・教育相談班 ふ・ふれあいルーム 情・情報教育研修
育・育成センター 【 】は未確定の行事・時間

ふれあいルーム陶芸展

教育センター内にある適応指導教室「ふれあいルーム」に通っている子どもたちの作品を展示しました。



電車に乗って、上下浜駅
近くにある工房へ行って
作りました。

石井先生から、ていねいに教えて
いただき、自分の思うような作
品ができました。

柏崎市刈羽郡内の学校だよりを展示しています

各学校が発行している「学校だより」を教育センターロビーに展示しています。「学校だより」は、各学校の“今”が分かる情報でいっぱいです。学校が地域や家庭と連携して、特色ある教育活動を展開している様子がうかがえ、子どもたちの生き生きとした姿が伝わってきます。

教育センターにお立ち寄りの際は、ぜひご覧ください。



ガリレオ・ガリレイはイタリアの天文学者
で近代科学の父と言われ、経験的・実証的方
法を用いる近代科学の端緒を開いた人です。

新しい教育の創造を志向する私たちにも
ガリレオ・ガリレイのごときたゆまざる創造
と検証の精神が必要であるという趣旨から
情報紙の名称を「GALILEI」としています。

教育センターの情報とともに、柏崎の教育
を広く発信していきます。

所報「GALILEI」 平成22年12月末日発行

編集・表紙写真撮影 中山 博迪

「ガリレイ」に関する意見・感想は、下記へ

E-mail nakayama@kenet.ed.jp



柏崎市立教育センター

TEL(代表) 0257-23-4591

FAX(代表) 0257-23-4610

〒945-0833

新潟県柏崎市若葉町2 31

教育研究班・情報教育 TEL・FAX 23-1168

教育研究班(科学技術教育) TEL 20-0212 FAX 20-0205

教育相談班(カウンセリングルーム) TEL 32-3397

// (電話相談) TEL 32-4115

E-mail k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp